まつやま し　　しゅうがくりょこう
松山市　修学旅行

じぜんがくしゅうしりょう
事前学習資料

まつやま し やくしょ　　かんこう　　こくさいこうりゅう か
松山市役所　観光・国際交流課

○目次

１．松山市について　－１－

２．松山 城 の秘密　－５－

３．３０００年の歴史を誇る道後温泉
－９－

４．松山ゆかりの文学者
子規と漱石について　－１２－

○はじめに

しりょう　　しゅうがくりょこう
この資料では修学旅行の
じぜんがくしゅう　　わ
事前学習として、４つのパートに分けて、
まつやま し　　しょうかい
松山市を紹介します。
じぜん　　がくしゅう
事前に学習しておくことで、
たび　　たの
さらに旅が楽しくなりますので、
らん
ぜひご覧ください。

１．松山市について

（１）松山市の紹介

松山市は、人口５０万人を超える
愛媛県の県庁所在地であり、
四国で最大の都市です。
気候は、一年を通じて温暖で
雨が少なく、穏やかです。
温泉と城と文学のまちともいわれ、
街のシンボルとなる松山城と、
日本でいちばん古いといわれる
道後温泉が有名です。

（２）文学の街

俳句を作る人を、俳人といいます。

松山は正岡子規や高浜虚子など
多くの有名な俳人がいました。

このことから、市内の小学生も
学校で俳句を学び、
毎年８月には全国の高校生による
俳句甲子園が行われています。

また、市内には多くの「俳句ポスト」が
設置され、誰でも気軽に俳句をつくり、
ポストに出すことができます。

なつめそうせき　しょうせつ
ほかにも、夏目漱石の小説
ぼ　ぶんがくさくひん
「坊っちゃん」をはじめとした文学作品とも
かんけい　ふか　まち　し
関係の深い街としても知られています。

（３）食べ物の魅力

まつやま　ゆた　やま　うみ　さと
松山は、豊かな山・海・里があり、
いちねん　とお　しんせん　しょくざい　めぐ
一年を通して新鮮な食材に恵まれています。

せとうち　さかな　ほんとう
なかでも瀬戸内の魚は、本当に
おいしいです。

とく　たい　たい　まる　どなべ
特に「鯛めし」は鯛を丸ごと土鍋に
い　はん　いっしょ　た　こ
入れてご飯と一緒に炊き込む、
まつやま　だいひょう　きょうどりょうり
松山を代表する郷土料理です。

（４）旅の思い出に松山のお土産を

松山は「お遍路さん」を迎え入れる

「おもてなし」の街でもあります。

お土産は「タルト」、「坊っちゃん団子」、

みかんを使ったゼリーなど、

有名なお菓子がたくさんあります。

２．松山 城 の秘密

松山 城 は、市内の 中 心 にある
１３２メートルの山の上にあります。
江戸時代までに建てられ、当時の 姿 のまま
残っている天守は、全国に１２だけあり、
松山 城 はそのうちの１つです。
松山 城 を築いたのは、関ヶ原の 戦 いで
活躍した加藤　嘉明です。
松山市のシンボルである天守のほか、
櫓 といわれる見張りや、
防御のための施設など、
５１の建物などが並んでいます。

まつやまじょう　　にほん　　めいじょう
その松山 城 は、「日本１００名 城」、
うつく　　にほん　れきしてきふうど　　せん
「 美 しい日本の歴史的風土１００選」
えら
などにも選ばれています。

ごうめ
ロープウェイやリフトで８合目の
ちょうじゃ が なる　　ひろば　　つ
長 者ヶ平という広場まで着くと、
てんしゅ い　ぐち　　と ほ　やく　　ぷん
天守入り口まで徒歩で約１０分。

たど　つ　　てき　しろ　まも
辿り着くまでに、敵から城を守る
し か
たくさんの仕掛けがあり、
ぼうぎょりょく　たか　　ゆうめい
防御 力 が高いことでも有名です。

たと　　と なしもん　　もん
例えば、「戸無門」という門は、
てき　さそ　こ　　いっき　こうげき
敵を誘い込んで一気に攻撃するため、
とびら　つく
わざと 扉 を作らなかったと
かんが
考 えられています。

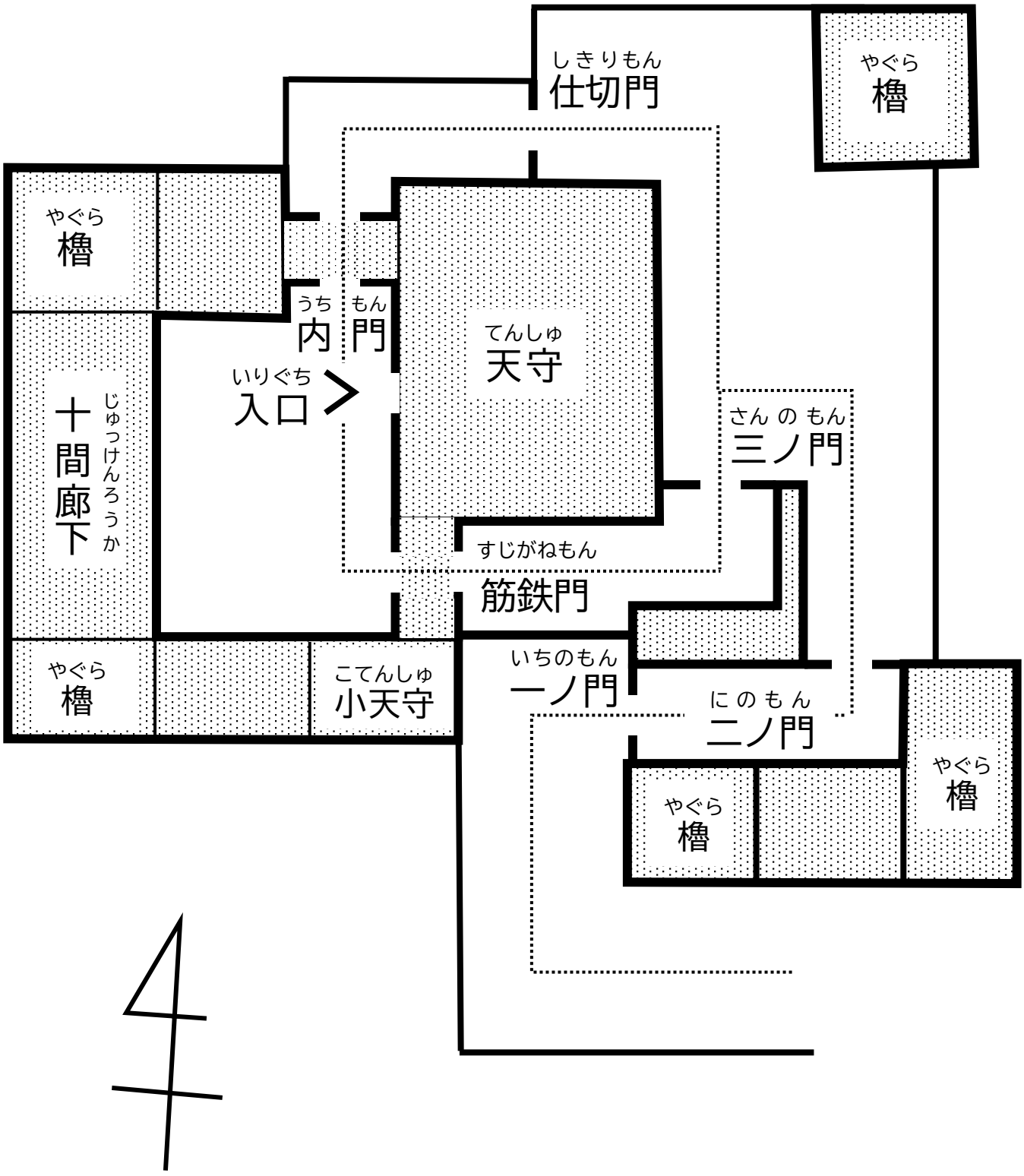
ほか　　てんしゅ　　もん
他にも、天守までにいくつもの門があり、
ずじょう　　いし　お
頭上から石を落としたり、
や　い　　こうげき
矢を射ったりして攻撃できます。

まつやまじょう　てんしゅ　　れんりつしきてんしゅ
松山 城 の天守は「連立式天守」といい、
よっ　　たてもの　しかくけい
四つの建物を四角形につなげています。

てんしゅ　　い　ぐち　かこ
天守への入り口が囲まれているため、
てき　　ほうこう　　こうげき
敵をいろいろな方向から攻撃できます。

てんしゅ　なか　　とうじ　ぶき　ぼうぐ
天守の中には、当時の武器や防具などの
てんじ
展示もあります。

松山城（見取り図）



4

３．３０００年の歴史を誇る道後温泉

日本でいちばん古い温泉といわれている
道後温泉。

日本書紀や源氏物語など
古い書物にも登場するほか、

伊藤博文や与謝野晶子など、
たくさんの偉人が訪れた記録が残っています。

道後温泉本館は、
日本の公衆浴場では初めて、
国の重要文化財に指定され、
世界中から注目されている温泉の１つです。

お湯は、肌にやさしい美人の湯といわれ、
地下深くから汲み上げられています。

どうご
道後には、

おんせん　わ　で　げんせん
温泉が湧き出る源泉がたくさんあり、

げんせん　わ　で
それぞれの源泉から湧き出る

おんど　ちが　ゆ
温度の違うお湯をブレンドして、

やく　ど　おんど
約４２度のちょうどいい温度にしています。

まいにちおな　おんど
毎日同じ温度になるように、

しょくにん　けいけん　ぎじゅつ　い
職 人が経験や技術を生かして

おんど　ちょうせい
温度を調 整しています。

ほうほう　にほん　めずら
この方法は、日本でも 珍 しい

どうごおんせん　とくちょう
道後温泉ならではの 特 徴 です。

どうごおんせんほんかん　れいわ　ねん　かいちく
道後温泉本館は、令和６年に改築から

しゅうねん　むか
１３０ 周 年 を迎えました。

れきし　　たから　こ
この歴史ある「まちの 宝 」を子どもや、
まご　せだい　たいせつ　ひ　つ
孫の世代まで大切に引き継ぐため、
へいせい　ねん　れいわ　ねん　あいだ
平成３１年から令和６年までの 間 、
えいぎょう　ほぞんしゅうりこうじ　おこな
営 業しながら保存修理工事を 行 いました。
こうじきかんちゅう
工事期間 中 は、
かんこうきゃく　かた　よろこ
観 光 客の方たちに 喜 んでもらうため、
じき
この時期だからこそできる
じっし　ぜんたい
イベントなどを実施し、まち全体で、
こうじ
工事というピンチを
どうごおんせん
道後温泉をＰＲしていくチャンスに
か　と　く　おこな
変える取り組みを 行 いました。

４．松山ゆかりの文学者 子規と漱石について

正岡子規と夏目漱石の松山との関係について紹介します。

正岡子規は松山の武士の家に生まれ、政治家になりたいと思い、１６歳の時、東京の学校に入学します。

子規は、学校で同級生だった夏目漱石と知り合い、仲良くなりました。

その後、新聞社に就職した子規は日本と中国の戦争中に、記者として中国に渡りましたが、学生時代からの病気のため体調を崩し、日本に帰るとすぐ入院しました。

いっぽう　そうせき　だいがく　そつぎょう　あと
一方、漱石は大学を卒業した後、
だいがく　えいごきょうし
大学の英語教師となりましたが、
たいちょう　わる　たいしょく
体調を悪くし、退職。
ご　まつやま　ちゅうがっこう　せんせい
その後、松山の中学校の先生となりました。
じ き　ふたり
この時期は、二人にとって、
じ き
つらい時期だったかもしれません。
そうせき　し き　にゅういん
漱石は子規が入院してすぐ
はいく　はじ　おし　ほ
「俳句を始めるので教えて欲しい」と
てがみ　おく
手紙を送っています。
ご　し き　まつやま　かえ
その後、子規は松山に帰り、
ふたり　まつやま　あいだ
二人は松山でしばらくの間、
いっしょ　せいかつ　なかま　はいくづく
一緒に生活し、仲間たちと俳句作りを
たの
楽しみました。

とき　なかま　つく
その時の仲間が作った「ホトトギス」

ざっし　しき　じぶん　はいく　ひろ
という雑誌で、子規は自分の俳句を広め、

のち　そうせき　しょうせつか
また後に、漱石が小説家として

デビューすることになりました。

しき　まつやま　あいだ
また、子規は松山にいる 間 、

はいかいたいよう　ゆうめい　はいくにゅうもんしょ
「俳諧大要」という、有名な俳句 入 門 書 を

か
書きました。

ふたり　ものがたり　くうきかん
二人の 物 語 は、ちょうどいい空気感の

まつやま　ふたた　うご　だ
松山で、 再 び動き出しました。

さて、４つのパートに分(わ)けて
松山(まつやま)の魅力(みりょく)をお伝(つた)えしましたが、
いかがでしたでしょうか。

知(し)れば知(し)るほど旅(たび)は楽(たの)しくなります。

質問(しつもん)などありましたら
学校(がっこう)を通(つう)じて連絡(れんらく)してください。

皆(みな)さんのお越(こ)しを、
心(こころ)からお待(ま)ちしています。

松山市役所(まつやましやくしょ)　観光(かんこう)・国際交流課(こくさいこうりゅうか)